

〔参 考〕

1) 山口県調査で捕獲・採取した野鳥検体と検査結果

検体の種類、野鳥名		数	検査結果	
捕獲した野鳥からの検体	渡り鳥	アオシギ	1羽	陰性
		ジョウビタキ	4羽	陰性
		シロハラ	9羽	陰性
		ツグミ	16羽	陰性
		ミヤマホオジロ	4羽	陰性
		マヒワ	1羽	陰性
	準渡り鳥	ルリビタキ	3羽	陰性
		ウグイス	12羽	陰性
		アオジ	8羽	陰性
		カワラヒワ	1羽	陰性
		ベニマシコ	9羽	陰性
	留鳥	ヒヨドリ	1羽	陰性
		モズ	3羽	陰性
		ミソサザイ	1羽	陰性
		エナガ	4羽	陰性
		シジュウカラ	2羽	陰性
		ホオジロ	12羽	陰性
	合 計		91羽	
	カモ類の糞		140	陰性
カラスの糞		50	陰性	

2) 大分県での調査の野鳥検体と検査結果

検体の種類、野鳥名		数	検査結果	
捕獲した野鳥からの検体	渡り鳥	ジョウビタキ	1羽	陰性
		ツグミ	7羽	陰性
		カシラダカ	4羽	陰性
		ミヤマホオジロ	1羽	陰性
	準渡り鳥	ウグイス	2羽	陰性
		アオジ	3羽	陰性
	留鳥	モズ	2羽	陰性
		エナガ	3羽	陰性
		ホオジロ	76羽	陰性
	合 計		99羽	
カモ類の糞		123	陰性	
カラスの糞		50	陰性	
ミヤマガラスの糞		58	陰性	

注) 表の「渡り鳥」とは、日本で見られる個体のほぼ全てが海外から渡来する種を、「準渡り鳥」とは、日本で見られる個体の中に海外から渡来するものが一部含まれる種を示す。
陰性とは、検体及び血清抗体ともにインフルエンザウイルスが検出されなかったことを示す。